

## 特集 1

# ユネスコ創造都市ネットワークの構築に尽力 ～2つの国際フォーラム開催報告～

SPECIAL 1 Collaboration to develop the UNESCO Creative Cities Network  
～ Two international forum reports ～

2008年秋以来、世界経済が低迷する中、「グローバル都市」に代わる新たな都市モデルとして「創造都市」への期待が高まり、2004年にユネスコが創設した創造都市ネットワークをめぐる動きも活発化している。

2009年秋、ユネスコの創造都市ネットワークに加盟する金沢市、神戸市において相次いで国際フォーラムが開催され、創造都市をめざす諸都市も参加し、各地の取り組みに関する情報交換や、都市間のネットワークづくりにむけた議論がなされた。都市研究プラザは、これらの国際フォーラムに協力し、その成功に寄与した。

## ■世界創造都市フォーラム2009 in KANAZAWA

2009年10月16日(金)に金沢21世紀美術館において金沢創造都市推進委員会と金沢市の主催により開催された。

本フォーラムは、金沢市が2009年6月にユネスコからクラフト分野における創造都市として、ネットワークへの加入が認められたことを契機に「手仕事のまち・金沢」を発信するとともに、「文化と産業の連環によるまちづくり」をテーマとしながら、文化を産業につなげるための方策などを議論する目的で開催されたものである。

フォーラムの第1部では、市長のあいさつに続き金沢市独自の創造都市シンボルマーク「テトメデス」が発表された。基調講演では、まず、仏政府対外貿易顧問のフランソワーズ・モレシャン氏から「フランスの職人文化について」というテーマでフランスにおける職人文化は自国のアイデンティティーを形成するが故に大切にされてきたことや金沢とフランスとの職人文化の共通性などについて報告された。また、エルメスジャポン(株)執行役員の藤本幸三氏からは「人、創造、喜び」というテーマでエルメスのものづくりの姿勢とエスプリ、職人たちの美や創造に対するインスピレーションの絶えざる更新への取り組みについて報告された。



世界創造都市フォーラム2009 in KANAZAWA

第2部では佐々木雅幸(都市研究プラザ所長)をコーディネーターに各都市の担当者参加のもと、「文化と産業の連環によるまちづくり」をテーマとするパネルディスカッションが行われた。

ゲント市からは音楽分野の創造都市として認定された理由として、ブルゴーニュ時代から繁栄した歴史があり、常に文化に対して寛容であり、多様な芸術が交流し、新しいプログラムが展開される都市であることが挙げられた。また、創造都市政策を推進する上で「Culture:文化」、「Communication:市民や行政間などの対話」、「Cooperation:協力(とくに移民との)」の3つのCを重要視しており、市全体の予算の6%(3,800万ユーロ)を占める文化予算のうち年間600万ユーロを音楽分野で使い、近年ではさらに民間による「文化投資ファンド」が誕生していること等が報告された。

韓国の全州市からは、ビビンバ等に代表される豊かな食文化を活かすため、研究や普及活動が重要だと考え、ビビンバ研究所、バイオ産業協会、全州食文化協会などが組織されていること、さらに、様々なフードフェア、見本市などが開催されており、ユネスコネットワークに食文化の分野で登録を目指していることが報告された。

横浜市からは文化・芸術を使って都心部を活性化しようというまちづくりの視点に立った創造都市政策を行ってきていることが報告された。その特徴としてアーティスト・クリエイターが住みたくするような創造環境の実現、創造産業の集積による中心市街地の経済活性化、港町にある歴史的建造物や倉庫などといった魅力ある地域資源の活用、市民と一緒に創造都市を創るという4つを挙げた。具体的な施策としては、「BankART」や「ZAIM」など歴史的建造物をいかした創造境界形成事業などが行われていることが報告された。

また、クラフト都市に認定された金沢市では、工芸は江戸時代よりまちの発展と深く結びつき、まちの中心部には工芸作家や工芸品店、それらを支える博物館、美術館も同様に集積していること、行政が歴史的な景観の保全に関する条例の制定や工芸に関する振興施策を数多く打ち出しており、金沢創造都市会議など官民一体となった取り組みも盛んであること等が報告され、文化と産業の連環によるまちづくりを目指した討論が行われた。

## ■ユネスコ・デザイン都市フォーラムin KOBE

2009年11月24日(火)、ポートピアホテルにおいて神戸市の主催により開催された本フォーラムは、デザイン

分野で認定された6都市すべての代表者が一堂に会し、各都市の多様な取り組みや今後の展望を紹介するとともに、デザイン都市間の連携交流やデザインを視点とした豊かで創造力のある魅力的な都市づくりについて議論することを目的とした。

まず、ユネスコ創造都市ネットワークの担当者、ドユン・リー氏よりその理念や意義が、各デザイン都市の代表者からそれぞれの実践が紹介された。

モンテリオール市では、1990年代初めからデザインのプロモーションを行っており、特に都市の生活の質にとって決め手となるレストラン、小売店のデザインコンペを続けていること、デザイン都市認定後は都市デザインを向上させる施策を展開していること、政治家・デザイナー・市民との間の距離をより短くするためにプレゼンテーションイベント「べちゃくちゃナイト」を開催していること等が報告された。

中国で最も若い都市、深圳市では2003年に文化を基本とした都市の戦略を策定し、印刷産業、漫画、映画、近代工芸等を奨励し、文化産業クラスターが急速に成長した。2008年には文化産業の付加価値額が都市のGDPの6.88%を占めていることなどが報告された。

ブエノスアイレス市からは20世紀前半から建築やラジオ、オブジェなどのデザインが盛んであったが、1983年の民主化後、テキスタイルやインダストリアルデザインなど新たなデザインが生まれていること、2001年に大きな経済危機があったものの、全てのデザイン産業を支えるメトロポリタンデザインセンターができたことで発展を続けていることなどが報告された。

ベルリン市からは、東西ドイツ統合後、生活費の安さや創造活動スペースがあることを背景にデザイナーが集積したこと、21世紀に入り、行政もデザイナーに対して積極的な支援を行っており、GDPの21%を創造産業が占めていることなどが報告された。

また、名古屋市は1989年には第16回世界デザイン会議、世界デザイン博覧会の開催、92年には名古屋市、愛知県、日本政策投資銀行、経済団体等の出資による株式会社国際デザインセンター設立等によりデザイン産業を振興してきており、現在では人材育成、環境都市、多様な文化とのネットワークの3つをコンセプトに創造都市政策を展開していることが報告された。

神戸市からは、まちなみ、くらしの文化、ものづくりの技術という3つの神戸らしさをデザインの視点からもう一度磨きをかけることにより、新たな魅力と活力をつく



ユネスコ・デザイン都市フォーラムin KOBE

りだすことを目的に、歴史的な建築物の保存活用や神戸ビエンナーレの開催等を展開していることが報告された。

フォーラム後半では佐々木雅幸をコーディネーターに「デザインのチカラで都市をつなぐ・魅力を創る」をテーマとするパネルディスカッションが行われ、デザイン都市間のネットワークを今後どのように機能させていくことが出来るのか、課題は何かなどについて意見が交換された。

■辻 堅太郎(所長アシスタント・RA)

In the cities of Kanazawa and Kobe, which have recently joined the UNESCO World Creative Cities Network, two international forums were held in succession, and the Urban Research Plaza collaborated in both forums.

On October 16, 2009 (Fri.) the World Creative City Forum 2009 in KANAZAWA was held on the occasion of Kanazawa's joining the UNESCO Creative Cities Network in the Craft category. At the forum there were reports from representatives of the cities of Ghent (Belgium), Jeonju (S. Korea), Yokohama, and Kanazawa, who held a group discussion. There was also a round table panel on the theme of "Urban Development through Linkages of Culture and Industry."

Subsequently, on November 24, 2009 (Tue.) the Cities of Design Forum in KOBE was held. Representatives from the UNESCO Creative Cities of Montreal, Shenzhen (China), Buenos Aires, Berlin, Nagoya, and Kobe appeared together on the same platform and discussed how to promote collaborative exchanges between design cities, how to develop attractive, creative, and thriving cities with a focus on design, and how a network of design cities should function.